



令和6年  
3月号

# 学校だより

小野市立中番小学校  
校長 井上雅規

三月、令和五年度の締めくくり  
★保護者の皆様、地域の皆様、  
一年間、ありがとうございます。

一年間、ありがとうございます。

いよいよ三月となりました。令和五年度がスタートしてから一年が過ぎようとしています。今年度五月には、新型コロナウイルス感染症も第五類に移行し、従来の日常生活や教育活動を少しずつ取り戻していきことができ、学校や地域では、活気が戻ってきました。もはや季節性では無くなったインフルエンザとの同時流行の波があり、心配なことではありますが、小野市の「状況に応じた感染対策を講じ、通常の教育活動を行う」という方針のもと、中番小学校では、「正しく恐れ、適切に対応する。」ことに取り組んで参りました。

さて、学校も令和五年度末を迎えようとしています。今年度は、PTA役員の皆様を中心に保護者の皆様方のご理解とご協力のおかげで、校内マラソン大会の平日延期開催ができました。本当にありがとうございます。また、地域の皆様方にも、平素より温かい目で子どもたちを見守り、お声がけをいただきながらご支援いただきました。そのような中、中番小学校の子どもたちは、元気に、明るく日々の学習や中番小学校の特色の一つであるなかよし班（全校縦割班）を中心とした様々な活動に取り組みがんばっています。中番フェスティバルでは、各学年層による音楽的な表現活動に挑戦し、一人一人が立派で素敵な表現者となりました。中でも5・6年生の「誉田太鼓」は、その伝統を確かに引き継ぐことができました。後一人のかけがえのない令和五年度物語を最

後までしっかりと紡いで欲しいと思っています。この一年間、多くのご支援とご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。ありがとうございました。

## 卒業。修了。おめでとう！

★ワクワクドキドキ！新たな舞台。

三月、大きな大きな節目の時期。六年生は卒業、一年生から五年生は学年の修了・進級です。三学期は「一年のまとめと来たるべき四月に向けての準備の時期」と位置付けています。四月になったら、新年度になったら、では遅いのです。

六年生は、卒業にあたり、自分の将来・未来を思い描き、自分の可能性を見つめ、信じ、中学校という新しい舞台へ駆け上がって欲しいと思っています。五年生は、中番小学校のニューリーダーとして、力強く、牽引し、ここにしかない特色ある中番小学校の創造に期待を寄せています。四年生は、本格的に高学年の仲間入りをし、学校を動かす立場の一翼を担います。何事も自主的・計画的に行動・実行する姿勢が問われます。三年生は、「面倒を見てもらう立場」から「面倒を見る立場」に大きく変わり、またとない成長の機会でもあります。二年生は、中学年の仲間入り。積極的に、活動的で、漲るエネルギーの塊です。一年生は、一つ下の後輩ができます。よき先輩として、その手本となる姿に期待しています。誰もが来たるべき令和六年四月の自分のあるべき姿を思い描き、惜しみない努力を重ね、本校の学校教育目標にあるように地球的視野に立ち、物事を幅広く考えられるようになって欲しいと思います。夢や目標をもち、自分にしかないもの、自分

にしかできないこと、これだけは絶対に誰にも負けたくないというものを見つけ、自分も真摯に向き合い、生涯に渡り学び続ける人になって欲しいと願っています。

どんな状況にあっても、いつもあたたかく見守り、深いご理解をいただくとともに、惜しみないご支援とご協力、ご声援を賜りました保護者の皆様、地域の皆様、この中番小学校に関わる全ての皆様に深く感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。「明日も行きたい。学びたい。」そう思える中番小学校の実現に向け、今後も取り組んでいきます。中番小学校は、この地域とともに在り、地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと願っています。この一年間、本当にありがとうございました。

## 六年生を送る会

★感謝の気持ちを表し合いました

三月一日（金）、五年生新児童会運営のもと、「六年生を送る会」を行いました。各学年の出し物やセレモニーをおして、お世話になった六年生へ感謝の気持ちを表し、心温まる思い出のひとときとなりました。



それでもやります中番小学校「中番一番」

☆☆裏面に「3月の行事予定」を掲載しております。ご確認ください☆☆